

八王子・日野支部 ニュース

発行者：第2次新横田基地公害訴訟原告団 八王子・日野支部 2018. 6. 21発行

第2回「控訴審」

”傍聴参加への呼掛け”

7月27日(金曜日) **於：東京高等裁判所** 都心・霞ヶ関

午前10時30分開廷

今回も前回同様バスでそろって傍聴に行きますが、開廷が10時30分と早く、今回も傍聴席の「抽せん」が行われると思われるので、裁判所に余裕をもって、到着しなければなりませんので、下記のようにバス運行スケジュールが大幅に早くなりますので、今から心づもりして頂きたく、お知らせします。

7月27日(金曜日)

午前 7時40分 北八王子駅前出発
石川団地経由
田島橋バス停経由

午前 8時00分 久保山町一丁目
スーパーアルプス駐車場付近出発

午前 9時40分 高裁到着予定
事前集会

傍聴券「抽せん会」
午前10時20分頃 法廷に入場

午前10時30分 開廷
午前11時30分 閉廷

(徒歩で移動します)

午前11時45分 報告集会
場所：弁護士会館

午後 0時15分頃 バスで出発予定
昼食はバスの中で手配の弁当

午後 1時30分頃 久保山町一丁目
スーパーアルプス駐車場付近到着予定

午後 1時50分頃 北八王子駅到着
(帰りの時間は道路事情によります、その点をお含み置き下さい。)

「控訴審」その後の予定

☆ 現地検証
9月27日(木) 時間詳細未定

場所：八王子市久保山町(午前中)
場所：横田基地周辺(午後)

―――上記予備日10月12日(金)

☆ 第3回 口頭弁論(本人/証人尋問)
11月20日(金) 午前10時～午後4時

場所：東京高等裁判所(霞ヶ関です)

☆ 第4回 口頭弁論(結審予定)
2019年1月31日(木) 午後2時30分開廷

場所：東京高等裁判所(霞ヶ関です)

八王子支部活動の予定

皆さんの参加をお願いします。

対八王子市「騒音対策」交渉

日時：7月3日(火曜日)午前10時～11時
場所：八王子市市役所2階

今回、環境部長の市議会での「答弁」に怒り、部長と直接対話を要求します。

恒例の

「報告会」と「懇親会」

日時：8月4日(土曜日)午後6:30～8時
場所：宇津木台町会会館
久保山町一丁目20番地6
「久保山学童保育園」隣

7月27日の「高裁」でのDVDの上映を予定しております。



昨年の「報告会」「懇親会」いろいろな意見の交流と今後の予定などを確認しています。

あと半年間余の活動です。

第43回全国公害被害者総行動デー

に参加しました。

6月6日(水)、正午から日比谷公園霞門で集会、次に、霞が関官庁街をパレード、その後、三集団に分かれて、対政府交渉として次の三会場に臨みました。



外務省/防衛省合同

⇒前もって渡してあった『要請書』に沿って、両省担当者より回答を得た。それらの発言の前に沖縄より参加の方々が力強く発言した。

「毎回のことだが、誠意ある回答を真摯に説明してほしい」

回答

米軍基地と米軍の訓練は安全保障、特に抑止力として重要である。住民への負担は最小限になるよう、米軍に配慮を求めているし、合同委員会の22条一6項の合意内で、米軍は運用していると認識している。訓練は不可欠なものであるが、公共の安全を図っている。安全の確保は重要な課題ということは理解し、米軍に配慮を求めている。合同委員会の議事は相手の了解があるので、公開できないが、事故防止については、合意を求め、日ごろから広く打合せしている。安全は米軍の努力次第であるが、最優先の課題ではある。場周経路の飛行は最小限にとどめるよう申し入れている。沖縄海兵隊のMV22の運用詳細は認知していない。

外務/防衛省に『要請書』渡す。



私たちの反論

任務上習熟・練度・技術向上ということで沖縄では年間4万回もの飛行をしている。しかも、岩国からF35Bの飛来、横田からCV22の飛来など、増加は目に見えているのに、「夜間中止」は無理であるとか、米軍に合意の「順守」を求めているとか、毎年同じ回答ではないか。現状さえ認識していない。問題に正面から対応していない。解決につながらない。紋切型の回答、血が通っていない発言に、聞くに堪えない。こちらからの個々の問題へいつ、どのように解決するのか具体的に答えよ。「日米地位協定」に対しても、ドイツイタリアからしっかり学ぶべきである。

国土交通省

オスプレイの『横田米軍基地配備』を目の前に、国内法である「航空法」で「米軍にはこの法を適用しない」との記述は何を根拠としているのか、質問した。回答は「『安保条約、日米地位協定』による」と答えた。すかさず反論した。「米軍はやりたい放題・無法状態で運用をしているのに、それに対して、交渉してほしいと要請している前で、国内法でそのような表示をすることは、「無法状態」を認めていることを意味するのではないのか、とついた。

国交省何も答えず

5月の飛行機騒音報告

騒音対策委員会

2018年6月9日

5月騒音回数総計は644回

100dB以上	90～100dB	85～90dB	80～85dB	75～80dB	70～75dB	60～70dB
0	5	14	68	187	204	166

特記事項

5月4日の大編隊飛行を成功させるべく、前訓練多く、その後も編隊機数は最大3～5機へと縮小されたが、基地周辺での訓練が続き、騒音記録件数は644回と、2017年6月の711回に次ぐ記録となった。

目視で機種を確認したC-130の騒音レベル別件数は

100dB以上	90～100dB	85～90dB	80～85dB	75～80dB	70～75dB	60～70dB
0	0	1	26	134	143	85
総計との比		7%	38%	72%	70%	51%

このC-130の騒音回数389回は全騒音総数の60%

基地周辺での「飛行訓練」がなければ騒音は半減か。目視で数えた、頭上を飛ぶC-130の機数は騒音観測機の件数よりも今月は30～40は多い。

C-130 新型ハーキュリーズ

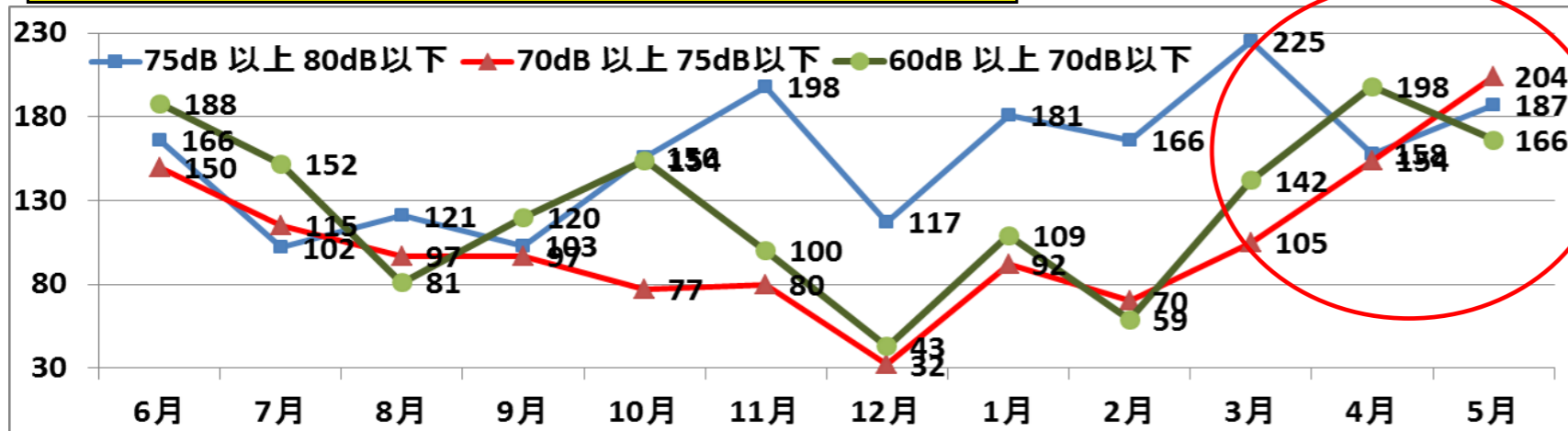


防衛省は『新型』はエンジンも改良され静かになったと豪語したが、これほどの訓練を基地周辺で行なうとは言ってなかった。

飛来機はどこからくるのか、情報はないので、只々実物を見るほかないのだが、時々、こんな変わった飛行機が

この3カ月の増加ぶりは驚くほどで、この先どこまで増えるのか

単発騒音80dB以下が急増し高止まりである



新型ハーキュリーズ 編隊訓練続く

5月4日の大編隊飛行もびっくりだが、右表の14日と15日の騒音回数が50を超える日が連続したのは初めてである。両日のC-130の騒音を下段にまとめたが、85dBを超える騒音は横田基地への飛来機によるものであることがわかる。



左の写真は6月2日「わらべ宇津木台保育園」での運動会に孫の写真を撮りに来た方が大騒音にびっくりして、シャッターを押した写真です。胴体腹部の下がブルーの4発ジェットは米軍が定期に使っている、アトラス航空の貨客機である。

飛来機の騒音は大きい



単発騒音レベル	80～85dB	75～80dB	70～75dB	60～70dB	合計
2018/5/14	5	19	8	7	39
2018/5/15	1	3	18	13	35

更にこの飛行を時間ごとに整理すると、訓練が『黄昏時』であり、私たちの夕食・団らん時間の最中なのである。

この5月4日の大編隊飛行の写真は、次に来るであろう「オスプレイ」の編隊訓練を想像させる。こんなことになってほしくないが、心配したことを記録しておく必要から再録した。横田米軍基地が単純な『輸送基地』から実践的な訓練基地に様変わりしたのである。特にオスプレイの運用は『空軍の特殊攻撃部隊』である。

	14日	15日
	月	火
騒音回数	52	53
騒音指数 (Lden)	55.6	55.9
時間帯別		
N1 (00:～07:)	0	1
N2 (07:～19:)	39	46
N3 (19:～22:)	13	6
N4 (22:～24:)	0	0
騒音別		
60dB～70dB	9	24
70dB～75dB	13	22
75dB～80dB	22	5
80dB～85dB	6	1
85dB～90dB	2	1
90dB～100dB	0	0
100dB～	0	0

下記はC-130の騒音だけで集計した。14日は観測器の近くを通過15日は旋回後観測器付近をゆっくりと消音で通過した。

		14日	15日	
		月	火	
騒音発生回数	N1	0時～1時	0	0
		1時～2時	0	0
		2時～3時	0	0
		3時～4時	0	0
		4時～5時	0	0
		5時～6時	0	0
	N2	6時～7時	0	0
		7時～8時	0	0
		8時～9時	1	0
		9時～10時	0	0
		10時～11時	3	2
		11時～12時	3	7
N3	12時～13時	5	3	
	13時～14時	2	1	
	14時～15時	0	1	
	15時～16時	0	0	
	16時～17時	0	0	
	17時～18時	4	4	
N4	18時～19時	9	11	
	19時～20時	10	2	
	20時～21時	2	4	
	21時～22時	0	0	
	22時～23時	0	0	
	23時～24時	0	0	
合計		39	35	